

ROS1 融合遺伝子				P000032	
				担当部署	
ROS1				病理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満48時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス 4) 細胞診材料は採取後2時間以内に凍結			
検査受付時間		8:15~16:00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		治療前			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス	容器番号 20 プレパレート	無	5	枚
2	組織 4mm 角	容器番号 30 遺伝子検査用標本スライド容器	無	50	g
3	穿刺液(胸水、腹水、心嚢液)	容器番号 27 滅菌スピッツ管		沈 渣 物 を -70℃以下 で冷凍	
4	気管支洗浄液 から採取した 沈渣物				
5					
6					
7					

8					
検体搬送条件		室温、冷凍			
検体受入不可基準		オーダーがない。			
保管検体の保存期間		パラフィンブロック：半永久 ＊保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科			
測定時間		4～7 日			
生物学的基準範囲		検出せず			
臨床判断値		ROS1 融合遺伝子を検出します。			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		ROS1 融合遺伝子とは、ROS1 の全チロシンキナーゼドメインとパートナー遺伝子の一部が融合して形成される融合遺伝子で、非小細胞肺癌・胆管癌・胃癌・卵巣癌など様々な癌で確認されており、染色体再構成によって活性化されています。本検査は、本融合遺伝子の検出を行い、切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌の患者に対し、クリゾチニブの適応判断の補助に用いられます。			